

2020年7月1日(水)

第一三共ヘルスケア株式会社

敏感肌向けブランド「ミノン」から、コレステロールに着目して開発した全身用保湿剤

「ミノン® 全身保湿ミルク」「ミノン® 全身保湿クリーム」を新発売

発売日：2020年8月25日(火)

第一三共ヘルスケア株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉田勝彦）は、敏感肌向けブランド「ミノン」から、コレステロールに着目して開発した全身用保湿剤「ミノン 全身保湿ミルク」「ミノン 全身保湿クリーム」（いずれも医薬部外品）を本年8月25日（火）に新発売します。



「ミノン」は化粧品アレルギーによる肌トラブルをなくしたいという思いから誕生し、1973年の発売以来、敏感肌に悩む方にご使用いただけるブランドとして、赤ちゃんからご高齢の方まで世代を超えて多くのお客様からご支持をいただいています。

2009年にはフェイスクリームシリーズとして「ミノン アミノモイスト」を、2018年には男性向けスキンケアシリーズ「ミノン メン」を発売するなど、ラインアップを拡充してまいりました。

敏感肌は肌のバリア機能の低下により刺激を受けやすい状態であり、角質層内の保湿成分が不足しがちになることが原因のひとつです。

このたび発売する「ミノン 全身保湿ミルク」「ミノン 全身保湿クリーム」は、角質層を構成する細胞間脂質の主成分である「コレステロール」に着目して開発した独自処方で、肌のバリア機能を守りながら肌あれを防ぎます。肌にすっとなじみ、しっとりするのにベタつかない使用感で、顔にも体にもご使用になれます。

近年、敏感肌を自覚する生活者の増加に伴い、ボディクリーム・ローションの需要は拡大傾向にあります。当社が2019年に実施した調査によると、体の肌質が敏感肌であると自覚している人は約7割に上り、顔と同程度存在することがわかりました。

当社は、新たに全身保湿シリーズをラインアップに加えることで、敏感肌に悩む生活者のQOL（生活の質）向上に貢献してまいります。

〔 ミノン 全身保湿シリーズの特長 〕

【シリーズ共通】

- ◎バリア機能サポート成分としてSPL【Self Protection Lipid（コレステロール）*1】、アミノ酸系セラミド類似成分*2、スーパースムーズワセリン*3を配合。また肌あれ防止成分としてグリチルレチン酸ステアリルを配合。肌のバリア機能を守りながら、肌あれを防ぐ独自処方。
- ◎低刺激性にこだわり、赤ちゃんからご高齢の方まで顔にも体にも使えます。
- ◎肌にすっとなじみ、しっとりするのにベタつかない使用感。

【剤型別】

- 「ミルク」 ……のびがよく全身に使いやすい乳液タイプ。
うるおいベールにつつまれたようなみずみずしいスベスベ肌に。
- 「クリーム」 ……やわらかく伸ばしやすいので、乾燥が気になるところに使いやすいクリームタイプ。
しっとりとして吸い付くように、粉ふき肌も優しく包み込みます。

*1 コレステロール：保湿 *2 ラウロイルグルタミン酸ジ（コレステリル・ベヘニル・オクチルドデシル）：保湿 *3 なめらかに塗り広げられるワセリン：保湿

「SPL：Self Protection Lipid（コレステロール）」について：

肌のバリア機能を担うコレステロールのことで、角質層において、セラミドや脂肪酸と共に、細胞間脂質の構成成分としてラメラ構造を形成してバリア機能をサポートし、皮膚の恒常性の維持に役立っています。バリア機能が低下した肌はコレステロールを含む細胞間脂質が不足しています。

製品概要

製品名	「ミノン® 全身保湿ミルク」 (販売名：DSミルクz)
分類	医薬部外品（全身用乳液）
包装	200mL
価格	ノープリントプライス
成分	<有効成分> グリチルレチン酸ステアリル <その他の成分> BG、濃グリセリン、パルミチン酸オクチル、オクタン酸セチル、α-オレフィンオリゴマー、POEベヘニルエーテル、コレステロール、パルミチン酸ソルビタン、硬化油、ワセリン、フェノキシエタノール、親油型ステアリン酸グリセリル、ベヘニルアルコール、ジメチコン、アクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体、ヒドロキシエチルセルロース、水酸化Na、ラウロイルグルタミン酸ジ（コレステリル・ベヘニル・オクチルドデシル）

製品名	「ミノン® 全身保湿クリーム」 (販売名：DSクリームz)
分類	医薬部外品（全身用クリーム）
包装	90g
価格	ノープリントプライス
成分	<有効成分> グリチルレチン酸ステアリル <その他の成分> BG、濃グリセリン、ワセリン、オクタン酸セチル、POEベヘニルエーテル、ベヘニルアルコール、サラシミツロウ、コレステロール、ホホバ油、ジメチコン、テトラオクタン酸ペンタエリスリット、フェノキシエタノール、親油型ステアリン酸グリセリル、カルボキシビニルポリマー、ラウロイルグルタミン酸ジ（コレステリル・ベヘニル・オクチルドデシル）、水酸化Na

<ご参考>

1. 「ミノン」ブランドについて

1973年、化粧品アレルギーによる肌トラブルをなくしたい、という思いから誕生したミノン。開発当時から目指している「3つのNon」（Non-allergic：アレルギーの原因物質を極力カット、Non-alkaline：弱酸性、Non-toxic：低刺激性）から「ミノン」と名づけました。

赤ちゃんからご高齢の方までお使いいただけるブランドであり続けるために、一貫して今もこの哲学を守っています。



「ミノン」(現・「ミノンスキンソープ」)
1973年発売

2. 第一三共ヘルスケアについて

第一三共ヘルスケアは、第一三共グループ*4の企業理念にある「多様な医療ニーズに応える医薬品を提供する」という考え方のもと、生活者自ら選択し、購入できるOTC医薬品の事業を展開しています。

現在、OTC医薬品にとどまらず、スキンケアやオーラルケアへと事業領域を拡張し、経営ビジョン「健やかなライフスタイルをつくるパートナーへ **Fit for You**」の実現に向けて取り組んでいます。

こうした事業を通じて、自分自身で健康を守り対処する「セルフケア」を推進し、誰もがより健康で美しくあり続けることのできる社会の実現に貢献します。

*4 第一三共グループは、イノベーション医薬品（新薬）・ジェネリック医薬品・ワクチン・OTC医薬品の事業を展開しています。

「ミノン」ブランドサイト：www.minon-amino.jp
(2020年8月25日リニューアルオープン予定)